

お金が消えるマジック貯金箱

私たちの生活にとって必需品である鏡は、理科学習の分野においても光を反射する教材としてよく活用されます。また、科学工作や科学マジックなどにおいても、不思議な世界をつくり出す道具として人気があるものです。自由にカットできる鏡なども教材カタログでは頻繁に紹介されており、万華鏡づくりなどは子どもたちにも大人気のものづくりとなっています。

そこで、今回は鏡を使ったものづくりとして、コインが消えてなくなる貯金箱をつくってみましょう。そして、入れたはずのお金が見えなくなるのか、その不思議について考えてみましょう。



材 料

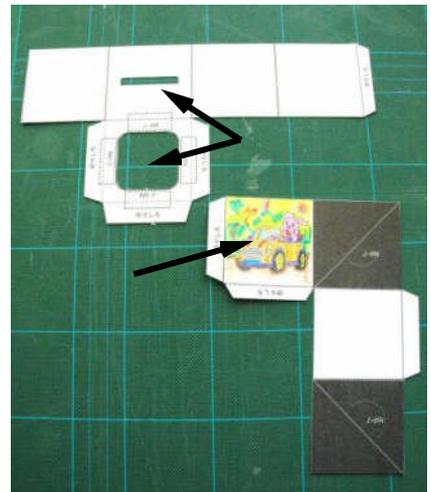
- ・カッティングミラー（ケニス 1-115-335）
- ・ケント紙
- ・透明フィルム（OHPシート）
- ・セロハンテープ
- ・はさみ、カッターナイフ、のり

準 備

- ・貯金箱の型紙をケント紙に印刷します。このとき、ケント紙の厚みによっては、はさみで切り取りにくかったり、のり付けができなかったりしますので、製作する対象年齢を考え、購入するケント紙の厚みを考えてください。
- ・カッティングミラーは、できあがる貯金箱の大きさに合わせてあらかじめ切断しておくとうりやすいです。はさみで簡単に切れるミラーですが、カッターナイフを用いた方がよりきれいに切り取ることができます。
- ・切り抜いた窓にはり付ける透明シートは、OHPシート程度のもものが最適です。このシートも、できあがる貯金箱の窓枠に合わせて、あらかじめ切断しておくとうりやすいです。

作り方

- 1 展開図に印刷されたぬり絵の部分に色をぬります。
(写真1のA)
- 2 展開図に印刷された紙から、箱の部分を切りとります。このとき、できるだけ線の外側にそってきれいに切りましょう。(写真1)
- 3 窓の部分の×印にカッターで切れ目をいれ、はさみで窓の部分を切りとります。コインを入れる所も、カッターナイフで切りとります。(写真1のB)
- 4 折り線（点線）にあわせて、谷折りできれいに折ります。(写真2)
- 5 セロテープで、窓に透明シートを貼り付けます。
(写真2のC)
- 6 のりしろの部分が箱の外側にくるように、セロテープを使って箱を組み立てます。
- 7 鏡を黒色面の白線にそって斜めに入れてセロテープでとめます。(写真3のD) このとき、セロテープのつくところに注意しましょう。
- 8 窓のまわりにもようをつけて、貯金箱を豪華にしましょう。



<物理分野>

9 マジック貯金箱ができたら、窓から20 cm くらい離れて、窓をのぞきながらコインを入れてみましょう。

取り扱い

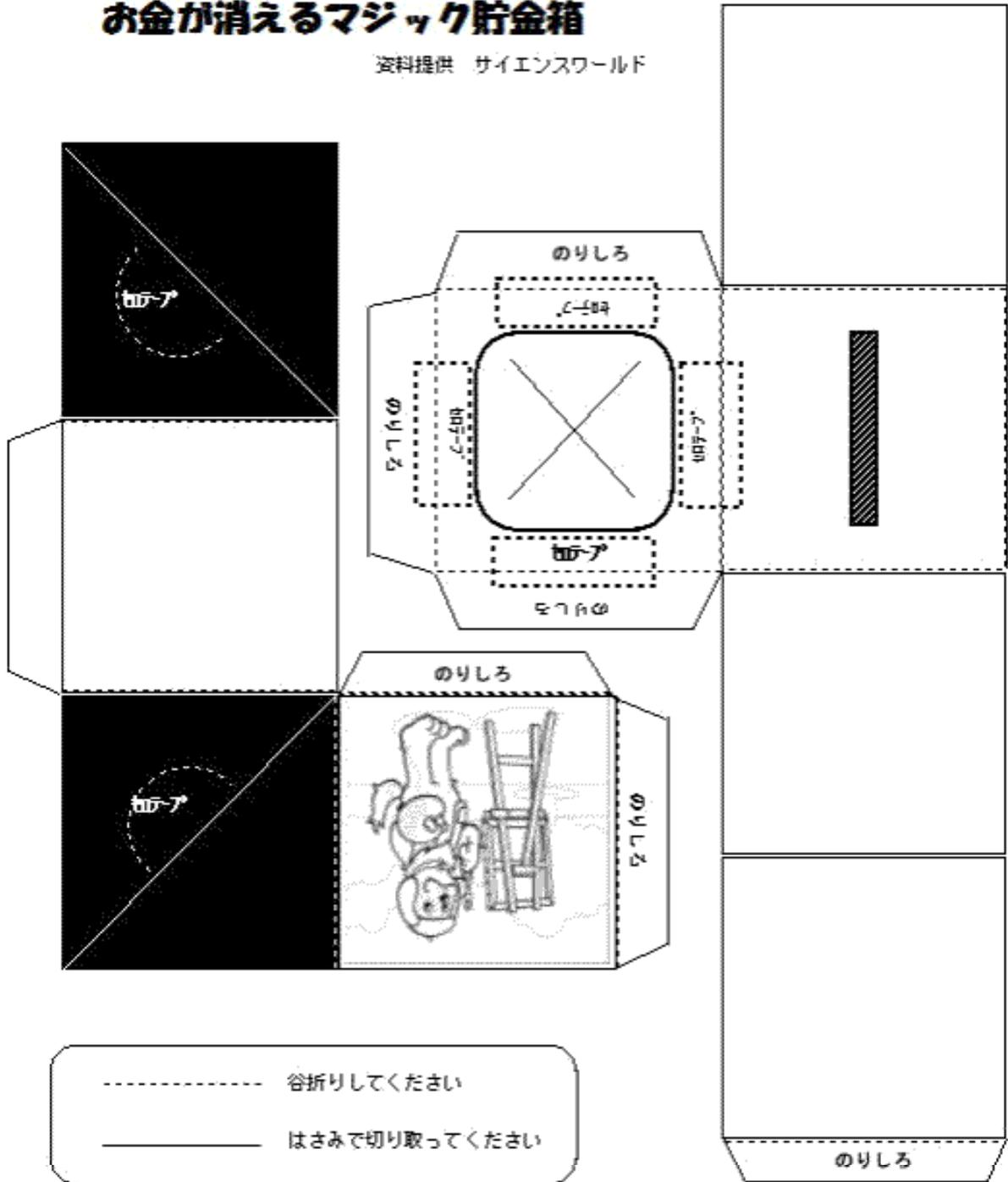
- ・特に取り扱う際の注意はありませんが、入れたお金を出しやすいように、内側の箱についている引き出すための部分を外に出しておくようにしましょう。

資料提供 サイエンスワールド



お金が消えるマジック貯金箱

資料提供 サイエンスワールド



※拡大して活用してください